

踏み出そう新たなステージへみんなの力が新渡戸の未来

5月号

令和元年5月1日号



新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

東京医療

住所 東京都中野区中央四丁目59番16号

TEL 03-3382-1231 (代) 夜間受付 03-3382-9991

ホームページ <http://www.nakanosogo.or.jp> E-mail soumu@nakanosogo.or.jp

第359号

発行人/理事長 入江 徹也

発行責任者/総務課長 横井 悟

市中病院の外科医の仕事とは？

新渡戸記念中野総合病院 副院長 兼 外科部長 大野 玲

今回は我々常勤外科医6人の日常の仕事ぶりを通して、市中病院の外科医の仕事をご紹介します！

2019年〇月〇日のとある平日

朝7時半、2人の研修医は入院患者様の点滴をとったり、採血をしたりすることから一日が始まります。8時すぎに外科スタッフが病棟に集合し、全員で昨日の当直のT医師から報告を受け、入院患者様の画像所見や検査所見の結果を検討し、緊急処置が必要な場合は処置をします。T医師は大学で大腸がんの遺伝子診断を学んだ大腸がんの専門家、ガンセンターでの勤務経験もあります。入院は大腸憩室出血の50代の男性、軽度の腸閉塞の60代の女性でした。幸い2人には緊急処置は必要ありませんでした。緊急処置が必要ない場合には、各自その日の予定の仕事にかかります。前日当直でも、翌日は基本的に休むことはありません。

T医師、K医師は午前中、外来診療です。K医師は女性ですが、泣く子も黙る胃がんのスペシャリストです。時刻はそろそろ昼の12時を回っています。2人の医師は外来の診療をなんとか終え、昼食も摂るか摂らぬやで直腸がん手術のために手術室へ入りました。

さて、T医師とK医師が外来診察中、S医師は研修医2人を引き連れて、病棟の50名近い入院患者様の回診を行っていました。採血、検査結果を確認し、指示を出したり、点滴の確認や、内服の処方もします。S医師は当院では主に乳がんを担当しており、抗がん剤の使い方にも精通しており、東日本大震災の際にはボランティアで東北の病院で勤務した経験もある男気のある医師です。

一方、U医師とH医師は内視鏡室で消化器内科医と協力して、予定の胃カメラ、大腸カメラや処置をしていました。U医師は出身大学のJ大に帰学が内定している若手エリート外科医、H医師も当院での研修後は出身大学のMD大に帰学する、将来

を嘱望されている若手女性外科医師です。午後にはそれぞれ受け持ち患者様の予定手術を行うため手術室へ向かいました。

予定手術も終わりかけたころ、近隣の病院から緊急手術依頼の連絡が入りました。70代の女性の十二指腸潰瘍の穿孔性腹膜炎です。この手術をU医師がR医師と無事に終えたのは、その日の午後7時を回っていました。

その後、入院患者様の夜回診を行い、次週の手術予定を確認して、すべてが終了したのは夜9時過ぎになっていました。H医師はこの日の当直で、病院に泊まって救急患者様の対応と入院患者様の容態の変化に備えます。

これら通常業務に加え、症読会(国内外で発表される最新の論文を検討する会)、患者様とご家族様との面談、診断書や各種証明書などの種々の書類の作成、学会発表や学術論文の作成なども行います。

現在の診療体制

上記のような仕事を、現在当科では非常勤医師5人の助けを借りて行っています。扱う疾患は消化器、呼吸器、乳腺その他と多岐にわたっています。当科の特徴としては、1年365日、ほぼ毎日外科医師が当直をしていることです。中野区内で毎日外科当直医が常駐している病院は当院のみです。腹腔鏡手術の割合が高く、虫垂炎、鼠経ヘルニアはほぼ100%、種々の消化器悪性腫瘍も大半は腹腔鏡下に行っています。緊急手術も多く、曜日、昼夜に関係なく随時手術が可能です。驚くかもしれませんが、当院よりも規模の大きい立派な病院から、緊急手術の依頼を受けることもあります。2018年度の総手術件数は642件でした。吐血、下血に対する緊急胃カメラ、大腸カメラも行っています。当院外科は開業医の先生方とも連携し地域密着の医療を心がけ、すべての患者様に必要十分な治療を提供すべく、日夜研鑽に励んでいます。どうぞ安心して受診してください。よろしくお願いたします。

ニューフェイスです!

新任医師紹介

4月1日から当院に新たに新渡戸稲造記念センター長と10名の医師、7名の臨床研修医が着任しました。どうぞよろしくお願いたします!



東京医療生活協同組合
新渡戸稲造記念センター長
樋野 興夫



呼吸器内科部長
田中 理子



呼吸器内科医長
高崎 寛司



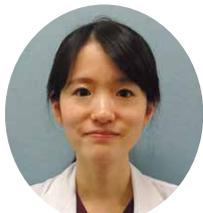
皮膚科医長
乾 恵子



腎臓内科医長
山村 知里



腎臓内科
佐々木 幹人



耳鼻咽喉科
毛利 香織



神経内科
安達 彩織



眼科
今関 誠



整形外科
谷本 貴大



外科
林 久美子



1年目の
臨床研修医



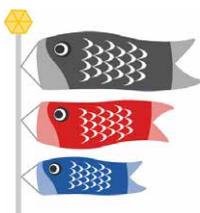
甲斐 文彬



佐治 ひな子



梶村 光貴



清水 玄



川畑 有紗



大西 ミキ



白石 織栄



生協組合へご加入のお願い

新渡戸記念中野総合病院の母体である東京医療生活協同組合は、「消費生活協同組合」の法人で、組合員の皆様からの出資金が経営の基盤になっています。東京都内にご住所がある方、あるいは東京都内の企業に勤務されている方であれば、どなたでも組合への加入の資格があります。入院されて個室に入られた場合、室料差額が1日あたり500円引きになります。ま

た、日帰り人間ドックを受けられる場合は、3,000円引きになるといった特典があります。さらに毎月「新渡戸記念中野総合病院だより」をお届けします。

組合に加入するには、出資申込書に出資金(1口200円、25口5,000円より)を添えてお申し込みください。

担当 新渡戸記念中野総合病院 総務課
☎03-3382-1231(代)



新渡戸記念中野総合病院 リハビリテーション科技師長 柳澤 正也

平成31年3月16日に行われた平成最後の当院の「第19回区民健康講座」にご出席していただいた皆さま、誠にありがとうございました。

今回は転倒をテーマに、転ばないように日頃から準備できることについてお話をさせていただきました。

転倒とは、本人の意思に反して、足以外の身体の一部が床に触れることです。何かの内的要因がきっかけになり、それに外的要因が重なり、支持基底面から重心が出たときに上手に反応できなかった結果として転倒が起こります。

転倒予防には、①運動介入 ②視機能への介入 ③環境調整、そのすべてを行うと予防効果が高いといわれています。

転倒をきっかけに要介護状態に移行するのを防ぐために、早めに内的要因を診断し、環境を整え、運動を行う習慣を身に着けることが大切です。

運動はバランス運動・筋力トレーニング・柔軟体操・立ち上がり・歩行などを複合的に行うことが大事ですが、その方法は個人によりさまざま、同じ運動はありません。筋力トレーニングとバランスの調べ方については、STRONGを実施して、今の自分自身の状態を把握してみる大切になります。



「新渡戸記念中野総合病院 がん哲学外来」開設

4月より開設された本館6階「新渡戸稲造記念センター」にて、樋野 興夫センター長による「がん哲学外来」が始まりました。「がん哲学外来」は、がんにまつわるさまざまな悩みを対話を介して解消することを目的に、樋野先生が2008年順天堂大学医学部に創設されました(一般社団法人 がん哲学外来: www.gantetsugaku.org/ 参照)。

外来は予約制で、1回あたり約50分(週4名まで)、東京医療生活協同組合の組合員の方を対象にしています。

外来には費用はかかりません。予約は下記新渡戸記念中野総合病院 患者支援センターへ。患者様ご本人でもご家族の方でもお申込みができます。

「がん哲学外来」予約

新渡戸記念中野総合病院 患者支援センター

電話 03-3382-1507

受付時間 午前8時30分～午後4時30分



5月の小児救急体制

5月1日から31日までの、準夜間小児初期救急医療体制は下記の通りです。なお、都合により医師の変更もあり得ますので、ご了承ください。ご不明な点は、下記夜間受付にお問い合わせ願います。

*血液検査、点滴等の処置、入院等を必要とする場合は他病院を紹介します。

受付時間 毎日午後6時30分～午後9時45分

診療時間 毎日午後7時～午後10時

夜間受付 ☎03-3382-9991

5月準夜間小児初期救急担当医

日	月	火	水	木	金	土
			1 亀井 宏一	2 奈良 昇乃介	3 亀井 宏一	4 保崎 明
5 清水 泰岳	6 右田 王介	7 高梨 栄	8 荻原 正明	9 税所 純也	10 清水 泰岳	11 亀井 宏一
12 右田 王介	13 小須賀 基通	14 千葉 智子	15 佐和田 哲也	16 奈良 昇乃介	17 右田 王介	18 右田 王介
19 清水 泰岳	20 小須賀 基通	21 山田 正興	22 宇都 ちひろ	23 税所 純也	24 右田 王介	25 亀井 宏一
26 清水 泰岳	27 小須賀 基通	28 細谷 直人	29 栗津 緑	30 奈良 昇乃介	31 清水 泰岳	

新渡戸記念を支える

職場紹介

医療の現場をシステム面からサポート

医療情報システム室

医療情報システム室 室長代理 峯村 典政

医療情報システム室では、職員の皆様が患者様の医療に専念できるよう、医療の現場をシステム面からサポートする仕事を日々の業務としております。具体的には、電子カルテシステムのマスタ保守／システム更新／ヘルプデスクによる運用サポート、HPの管理／情報更新、PC機器の導入～廃棄までのサイクル管理、環境整備(各種設定等)などの業務です。

これからも電子カルテ、IT機器を院内で有効活用できるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



新渡戸 の 言葉

東京医療生活協同組合「新渡戸稲造記念センター」が当院の新たな時代の魁として、新年号「令和」の公布とともに4月1日設立されました。新渡戸稲造記念センター長には、数か国語に翻訳もされている『われ21世紀の新渡戸とならん』の御著書もある樋野 興夫先生が就任されました。今月号は、新渡戸校長時代の第一高等学校生徒でもあった南原 繁(東京帝国大学第十五代総長)が語った言葉を、『われ21世紀の新渡戸とならん』の序文より引用したものです。

樋野先生が語る言葉の中で最も衝撃的だったのが、「人生いばらの道にもかかわらず宴会」でした。意味を知るほどに、人生の極意がここにあると感じさせる味わいのある言葉です。

新渡戸稲造記念センターでは、樋野センター長が「がん哲学外来」も主催され、東京医療生活協同組合組合員を対象に始まりました。当生協にとって画期的な出来事です。

令和元年が5月より始まり、27日に当院は88回目の創立記念日を迎えます。新しい時代を名実ともに迎えている新渡戸記念中野総合病院を、これからもご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄

「何かをなす(to do)前に
何かである(to be)ということを
まず考えよということが
(新渡戸 稲造)先生の一番大事な
教えであったと思います」(南原 繁)

新渡戸 稲造